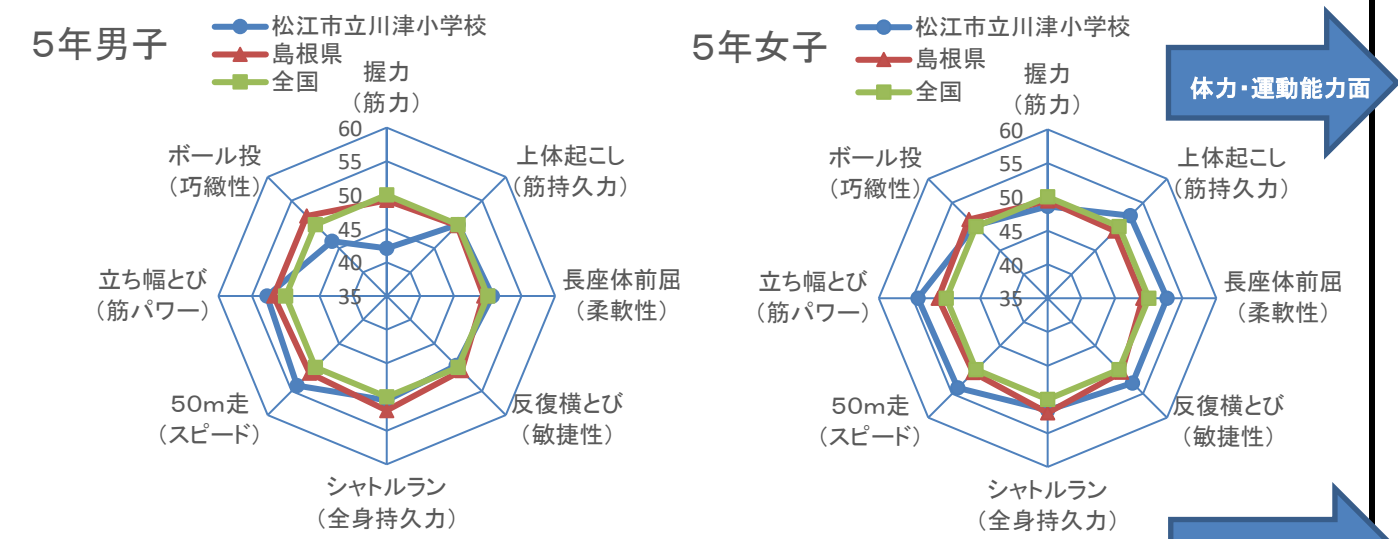
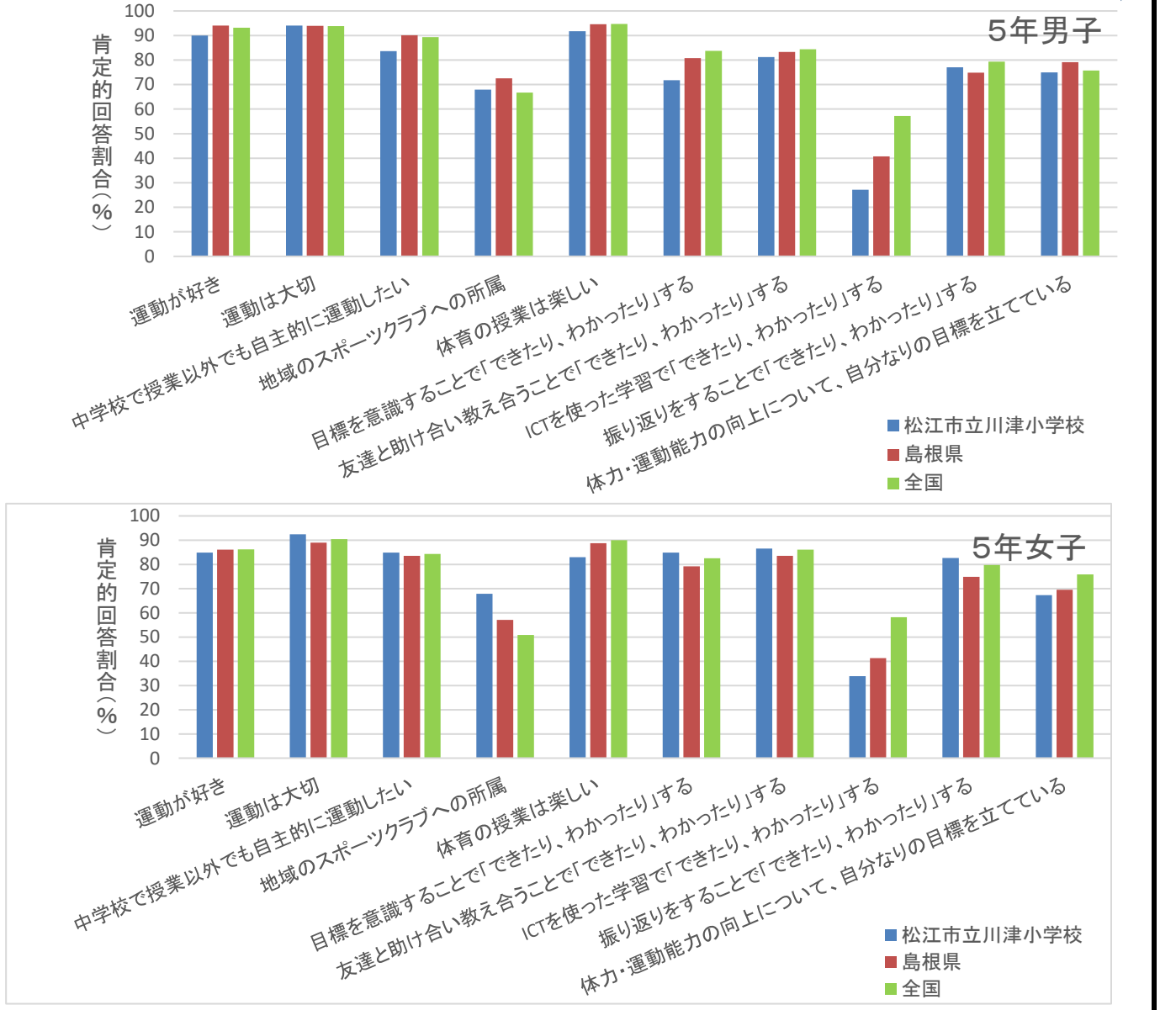


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-7.9	0.0	0.7	-0.4	0.5	3.8	2.8	-3.5
女子	-1.4	2.3	2.7	2.8	1.6	3.8	4.2	0.2

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-3.2	0.2	-5.7	1.3	-3.0	-11.9	-3.2	-30.1
女子	-1.3	2.0	0.6	17.0	-7.0	2.4	0.4	-24.3
	振り返りをする中で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている						
男子	-2.3	-0.7						
女子	2.8	-8.6	【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】 弱み ← → 強み					

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- 体力向上や体育授業に関する研修会等の計画について
市や県が行っている研修会への伝達を積極的に行い、研修に参加する教員を増やし、教員の指導力向上につなげる。
- 体育科授業の工夫・改善について
年度初めに体育授業のルールを全教員に周知し、全教員で指導を揃える。(笛の合図、整列の仕方、服装など)
本校児童の課題である「投力」、「握力」の向上に向け、体づくり運動などの単元を活用しながら改善を目指す。
- 体育科授業以外の活動の工夫について
体育委員会と連携しながら全校で体を動かす活動を、学期に1回以上行う。
体育部で器械運動などの用具を用いる単元の実施時期を揃え、用具の準備片付けがスムーズに行えるような環境を作る。
- 家庭・地域・近隣の学校・園との連携、情報発信について
令和6年度に実施した長期休業中の取組「チャレンジシート」を配付し、家庭での体力づくりを奨励する。今年度夏季休業中に配付したチャレンジシートにランニングを入れていたが、近年の外気温の高さを考慮しながら、実施内容と実施時期を精選して行う。
嵩の杜学園のすこやか部で各学校での体力向上に向けた取組や、課題を共有し合い、指導に生かす。